

# ハーベスト アジア フロンティア株式ファンド

追加型投信／海外／株式

## 交付運用報告書

第4期(決算日:2015年10月26日)

作成対象期間(2014年10月28日～2015年10月26日)

### 受益者のみなさまへ

平素は格別のご愛顧を賜り厚く御礼申し上げます。

さて、「ハーベスト アジア フロンティア株式ファンド」は、2015年10月26日に第4期の決算を行いました。

当ファンドは、主として外国投資信託証券「ハーベスト・アジア フロンティア エクイティファンド クラスJ」への投資を通じて、アジア フロンティア諸国へ実質的に投資することで、信託財産の中長期的な成長を図ることをめざして運用を行いました。ここに期中の運用状況と収益分配状況についてご報告申し上げます。

今後とも引き続きお引き立て賜りますようお願い申し上げます。

### 第4期末(2015年10月26日)

基準価額	13,611円
純資産総額	1,834百万円
第4期	
騰落率	5.9%
分配金(税込み)合計	1,000円

(注1) 騰落率は分配金(税込み)を分配時に再投資したものとみなして計算したものです。

(注2) 純資産総額の単位未満は切捨てて表示しております。

(注3) 当報告書における比率は、表示桁未満を四捨五入しております。

- 交付運用報告書は、運用報告書に記載すべき事項のうち重要なものを記載した書面です。その他の内容については、運用報告書(全体版)に記載しております。
- 当ファンドは、投資信託約款において運用報告書(全体版)に記載すべき事項を、電磁的方法によりご提供する旨を定めております。運用報告書(全体版)は、右記ホームページにて閲覧・ダウンロードいただけます。
- 運用報告書(全体版)は、受益者の方からのご請求により交付されます。交付をご請求される方は、販売会社までお問い合わせください。

### <運用報告書(全体版)の閲覧・ダウンロード方法>

右記URLにアクセス⇒「ファンド情報」⇒「当該ファンド」を選択⇒「目論見書・定期レポート等」を選択⇒「運用報告書(全体版)」より該当の決算期を選択ください。

 SBI Asset Management

SBIアセットマネジメント株式会社

〒106-6017 東京都港区六本木1-6-1

お問い合わせ先

電話番号 03-6229-0097

受付時間: 営業日の9:00～17:00

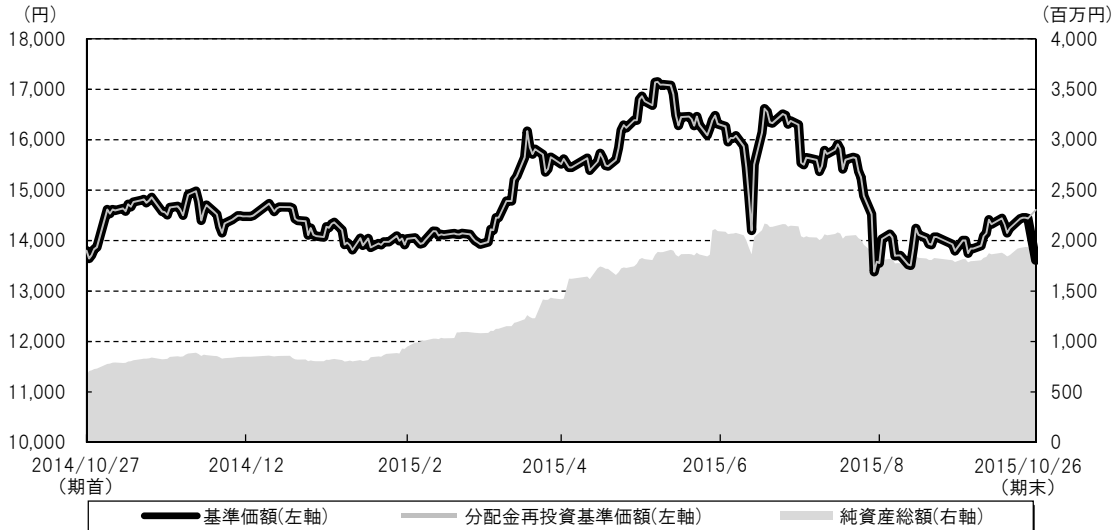
ホームページから、ファンドの商品概要、レポート等をご覧いただけます。

<http://www.sbiam.co.jp/>

## 運用経過

### 基準価額等の推移

(2014年10月28日～2015年10月26日)



期 首：13,801 円  
 期 末：13,611 円 (既払分配金(税込み):1,000 円)  
 騰 落 率： 5.9 % (分配金再投資ベース)

- (注1) 当ファンドにはベンチマークはありません。また、適当な参考指数もないことから、ベンチマーク、参考指数を記載しておりません。
- (注2) 分配金再投資基準価額は、収益分配金(税込み)を分配時に再投資したものとみなして計算したもので、ファンド運用の実質的なパフォーマンスを示すものです。
- (注3) 分配金の再投資についてはお客様がご利用のコース等により異なります。また、ファンドの運用経過については、当ファンドのパフォーマンスを示したものであり、ファンドの購入価額により課税条件等が異なるため、お客様の損益の状況を示すものではありません。
- (注4) 分配金再投資基準価額は、期首(2014年10月27日)の値が基準価額と同一となるように指数化しております。

### ○基準価額の主な変動要因

#### 上昇要因

バングラデシュ、モンゴル、スリランカ、ベトナム、中国等のアジア・フロンティア株式やフロンティア関連株式等の上昇、為替の円安進行など

#### 下落要因

バングラデシュ、モンゴル、スリランカ、ベトナム、中国等のアジア・フロンティア株式やフロンティア関連株式等の下落、中国の人民元切り下げを発端とした世界的な株価急落、為替の円高進行など

## 1 万口当たりの費用明細

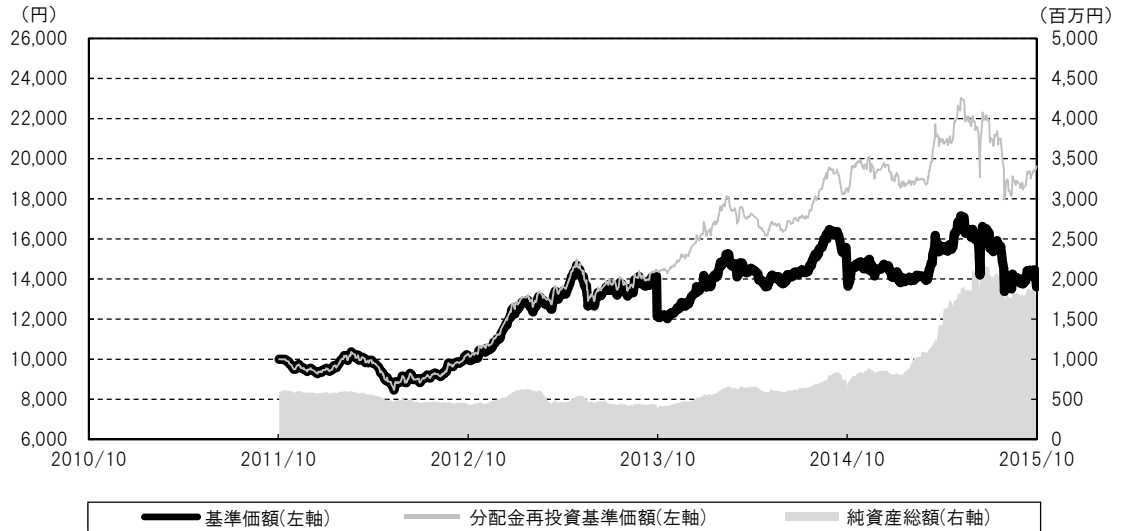
(2014年10月28日～2015年10月26日)

項 目	当 期		項 目 の 概 要
	金 額	比 率	
(a) 信 託 報 酬	円 213	% 1.443	(a)信託報酬＝期中の平均基準価額×信託報酬率
（投 信 会 社）	( 96)	(0.646)	委託した資金の運用の対価
（販 売 会 社）	( 111)	(0.754)	交付運用報告書等各種書類の送付、口座内でのファンドの管理、購入後の 情報提供等の対価
（受 託 会 社）	( 6)	(0.043)	運用財産の管理、投信会社からの指図の実行の対価
(b) そ の 他 費 用	25	0.172	(b)その他費用＝期中のその他費用÷期中の平均受益権口数
（監 査 費 用）	( 5)	(0.036)	監査費用は、監査法人等に支払うファンドの監査に係る費用
（印 刷）	( 20)	(0.137)	開示資料等の作成・印刷費用等
合 計	238	1.615	
期中の平均基準価額は14,778円です。			

- (注1) 期中の費用(消費税等のかかるものは消費税等を含む)は、追加・解約により受益権口数に変動があるため、簡便法により算出した結果です。
- (注2) 消費税は報告日の税率を採用しています。
- (注3) 項目ごとに円未満は四捨五入しております。
- (注4) 各比率は1万口当たりのそれぞれの費用金額を期中の平均基準価額で除して100を乗じたものです。
- (注5) 各項目の費用は、当ファンドが組入れている投資信託証券(マザーファンドを除く。)が支払った費用を含みません。  
当該投資信託証券の直近の計算期末時点における「1万口当たりの費用明細」が取得できるものについては「組入上位ファンドの概要」  
に表示しております。

最近5年間の基準価額等の推移

(2010年10月26日～2015年10月26日)



- (注1) 分配金再投資基準価額は、収益分配金（税込み）を分配時に再投資したものとみなして計算したもので、ファンド運用の実質的なパフォーマンスを示すものです。
- (注2) 分配金の再投資についてはお客様がご利用のコース等により異なります。また、ファンドの運用経過については、当ファンドのパフォーマンスを示したものであり、ファンドの購入価額により課税条件等が異なるため、お客様の損益の状況を示すものではありません。
- (注3) 当ファンドについては設定日以降のデータが5年に満たないため、実在するデータ（2011年10月28日から2015年10月26日）のみの記載となっております。

	2011年10月28日 設定日	2012年10月25日 決算日	2013年10月25日 決算日	2014年10月27日 決算日	2015年10月26日 決算日
基準価額 (円)	10,000	10,041	12,141	13,801	13,611
期間分配金合計(税込み) (円)	—	200	2,000	1,800	1,000
分配金再投資基準価額騰落率 (%)	—	2.4	40.8	28.5	5.9
純資産総額 (百万円)	587	440	380	662	1,834

- (注1) 当ファンドにはベンチマークはありません。また、適当な参考指数もないことから、ベンチマーク、参考指数を記載していません。
- (注2) 純資産総額の単位未満は切捨てて表示しております。
- (注3) 騰落率は1年前の決算応当日との比較です。ただし、設定日の基準価額は設定当初の金額、純資産総額は設定当初の元本額を表示しており、2012年10月25日の騰落率は設定当初との比較です。

## 投資環境

(2014年10月28日～2015年10月26日)

※以下の内容は、ハーベスト アジア フロンティア エクイティ ファンド クラスJ受益証券(以下、ハーベスト AF エクイティファンドと言います。)のファンド・マネジャー(ハーベスト グローバル インベストメント リミテッド)のコメントをSBI アセットマネジメント株式会社が和訳・編集したものです。

## 2014年11月から2015年9月までのアジア・フロンティア市場の投資環境(株式市場・外国為替市場)

当期間は、世界の株式市場にとって変動率が高く、様々なイベントの多い年となりました。中国 A 株市場は強気相場で始まったものの、中国経済への懸念が再燃したことにより2015年6月に高値を付けた後に調整したことから、中国株の上昇は短命に終わりました。一方、ユーロ圏は景気の低迷が続き、ギリシャの救済やユーロ離脱の可能性による先行き不透明感が世界の株式相場の重しとなりました。こうした状況にもかかわらず、米国市場は、マクロ経済に改善の兆しがみられ、金利サイクルの正常化が開始される可能性が出てきたことから、株式市場は2015年7-9月期に過去最高値まで上昇しました。米連邦準備制度理事会による利上げ観測は、新興国通貨が対ドルで下落ドルが全面高となったことから、引き続き新興国市場に影響を及ぼしました。中国も例外ではなく、2015年7-9月期の中国人民銀行による人民元切り下げは、アジア全域に波及しました。MSCI エマージング・マーケット・インデックス(ドルベース)は2015年8月に当期間中の最安値を付け、(株価と為替が急落した)「ブラック・マンデー」が再来したような状況となりました。

## 株式市場

アジア・フロンティア株式市場は相対的に良好なパフォーマンスを上げ、世界の株式市場の収益率を上回りましたが、人民元切り下げの衝撃はアジア・フロンティア諸国の通貨下落の引き金にもなりました。2015年8月には、カザフスタンが通貨テンゲのドルペッグ制を廃止したことにより、テンゲは約△22%下落しました。スリランカ・ルピーは、スリランカ中央銀行が外国為替市場への介入見送りを決定したことから、2015年9月に△8%下落しました。比較的底堅かったベトナム・ドンも人民元切り下げの影響を免れることが出来ず、2015年9月末までに約△3%下落しました。

## 外為市場

当期間は厳しい投資環境となり、フロンティア市場のパフォーマンスにも差異が生じています。ベトナムとバングラデシュ市場は引き続き新興国市場混乱の影響をあまり受けなかったものの、商品市況主導のカザフスタンやモンゴル市場は大幅な下落に見舞われました(現地通貨ベース、ドルベース)。当期間中、バングラデシュ市場は、競争力のある縫製品の輸出セクターや豊富な海外就労者の母国向け送金により、一貫して高い GDP 成長率を上げ続けたことから、アジア・フロンティア 5 カ国の中で最も高い収益率を上げました(現地通貨ベース、ドルベース)。また、通貨バングラデシュ・タカも新興国・フロンティア市場の中では底堅く推移した通貨の中の 1 つとなり、当期間中、対ドルでは最も下落幅が小さい通貨となりました。2015年9月に通貨スリランカ・ルピーが急落したに

ハーベスト AF エクイティ ファンド  
1口当たり純資産価格の推移



- (注 1) グラフは、BNP パリバ セキュリティーズ・サービスズ・シンガポールランチが算出した数値に基づいています。  
(注 2) 報酬(固定報酬・成功報酬)控除後の数値です。  
(注 3) 純資産価格は、翌営業日の「ハーベスト アジア フロンティア株式ファンド」の基準価額に反映されます。

もかわらず、スリランカ株式市場は下値抵抗性を見せ、当期間中は若干の下落に留まりました(現地通貨ベース)。スリランカ経済は、観光産業が力強く伸び続けていることから、引き続き好調です。2015年1月から9月のスリランカへの外国人観光客数は前年比+19%増加しました。通貨スリランカ・ルピーの下落に伴い、今後はスリランカの経常収支などへの下押し圧力が和らぎ、観光セクターの競争力も増すでしょう。カザフスタンとモンゴル、2つのエネルギー輸出国は、石炭や原油などの商品市況の下落が続いた結果、当期間中にアジア・フロンティア5カ国の中で最も低い収益率を記録しました。当期間中、カザフスタン市場とモンゴル市場はそれぞれ△46.3%、△21.2%下落し(ドルベース)、両国の通貨もそれぞれ△33.5%、△6.7%下落しました。エネルギー市場の見通しとしては、中国の需要減少に加えて、中東や米国の供給過剰により、引き続き変動率の高い状況が続くと我々は見ています。

## 当ファンドのポートフォリオ

(2014年10月28日～2015年10月26日)

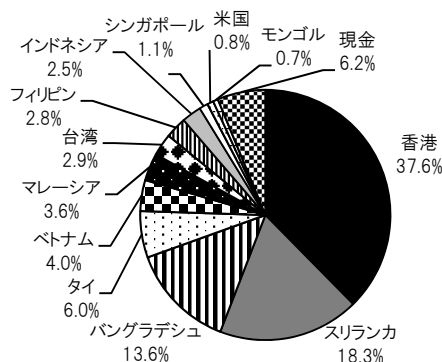
当ファンドは、2011年10月28日に運用をスタートし、当期は第4期となります。当ファンドは設定日以降、外国投資信託(円建て)「ハーベスト AF エクイティファンド」を高位に組み入れています。当期の基準価額(分配金込み)は+5.9%の上昇となりました。

以下の内容は、ハーベスト AF エクイティファンドのポートフォリオについてです。

※ハーベスト AF エクイティファンドのファンド・マネジャー(ハーベスト グローバル インベストメント リミテッド)のコメントをSBIアセットマネジメント株式会社が和訳・編集したものです。

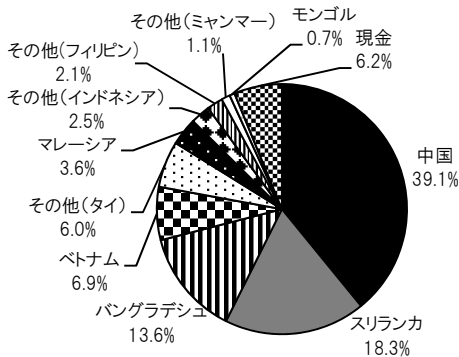
当期間中、ハーベスト AF エクイティ ファンドは参考指数比で約+7.3%超の相対収益を上げました。主に国・地域別の資産配分効果がファンド収益に大きく寄与したほか、銘柄選択もある程度ファンド収益にプラスに寄与しました。我々が投資対象としているアジア・フロンティア市場の中で、当期間中に最も高い収益を上げたのは、バングラデシュ銘柄です。当期間中に最も高い収益率を上げた銘柄はバングラデシュの保有銘柄であるリンデ・バングラデシュとハイデルベルグ・セメントでした。両銘柄は、当期間中にそれぞれ約+46%、約+25%上昇し、今後もバングラデシュ政府が発表した追加のインフラ開発支出の恩恵を受けることになりそうです。ハーベスト AF エクイティファンドは参考指数に対してバングラデシュの組入比率を若干低下させていましたが、我々の保有していた主要なバングラデシュ銘柄は力強いパフォーマンスを上げたことから、こうした国・地域別の資産配分比率のマイナスの影響を軽減する結果となりました。特筆すべきもう1つの銘柄は、組入比率の低かったベトナム銘柄です。我々が選定したベトナム乳業(ビナミルク)は、当期間中に+14.1%上昇し、国・地域別の資産配分においてベトナムの組入比率を低下させていた影響を相殺する格好となりました。ベトナム政府がベトナム上場企業における外国人投資家の保有制限を撤廃する方針を発表したことから、ビナミルクは2015年9月末にかけて株価が急騰しました。また、ハーベスト AF エクイティ ファンドが組入比率をゼロとしていたカザフスタンも、ファンド収益に大きくプラスに寄与しました。世界のエネルギー価格下落は、短期的には同国の経済や通貨の下押し圧力になると我々は引き続き考えています。

投資市場別構成比率(2015年9月末現在)

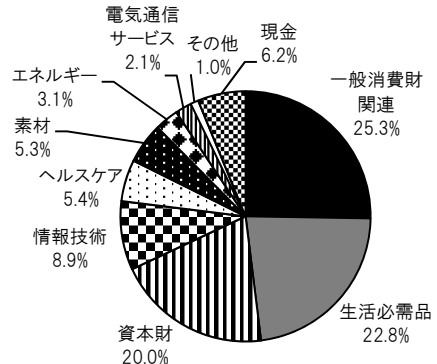


ファンド収益を低下させたのは、スリランカの銘柄選択でした。スリランカの主要銘柄の1つであるジョン・キールズは、娯楽、消費、不動産などの複合企業大手で、大企業向けの追加取得税導入の影響や政府がカジノ建設プロジェクトの認可取り消しを発表したことにより、当期間中に約△30%下落しました(ドルベース)。同社はスリランカの個人消費や観光関連消費の伸びを活かして成長していくと我々は考えていることから、長期保有のスリランカ銘柄として組入れを維持しています。

投資対象国・地域別構成比率(2015年9月末現在)



セクター別構成比率(2015年9月末現在)



組入上位5銘柄(2015年9月末現在)

銘柄名	投資対象国・地域	業種	構成比
センチュリー・セージ・サイエンティフィック・ホールディングス	中国	一般消費財関連	7.4%
ライオンブルワリー・セイロン	スリランカ	生活必需品	5.8%
プリティッシュ・アメリカン・タバコ・バングラデシュ	バングラデシュ	生活必需品	5.0%
コーヴェル・イ・ホールディングス	中国	情報技術	3.6%
フェニックスヘルスケア	中国	ヘルスケア	3.4%

(注1)「投資対象国・地域」は、実際の上場取引所の国々とは必ずしも一致しません。

(注2) 当ファンドの純資産総額に対する比率です。

(注3) ハーベスト AF エクイティ ファンドの資料につきましては、ハーベスト グローバル インベストメント リミテッドの資料を基にSBIアセットマネジメントが作成しております。

## 当ファンドのベンチマークとの差異

(2014年10月28日～2015年10月26日)

当ファンドにはベンチマークはありません。また、適当な参考指数もないことから、ベンチマーク、参考指数を特定しておりません。

## 分配金

(2014年10月28日～2015年10月26日)

当期は、当ファンドの分配方針に基づき、収益分配可能額(配当等収益額から経費等を控除)を算出し、基準価額の水準などを考慮した結果、1 万口当たり1,000 円(税込み)の収益分配を行うことといたしました。

収益分配に充てなかった利益につきましては、信託財産に留保し、運用の基本方針に基づいて運用いたします。

## ○分配原資の内訳

(単位:円、1 万口当たり、税込み)

項 目	第 4 期
	2014 年 10 月 28 日～ 2015 年 10 月 26 日
当期分配金 (対基準価額比率)	1,000 6.844%
当期の収益	—
当期の収益以外	1,000
翌期繰越分配対象額	3,611

(注1) 対基準価額比率は、当期分配金(税込み)の期末基準価額(分配金込み)に対する比率であり、ファンドの収益率とは異なります。

(注2) 当期の収益、当期の収益以外は小数点以下切捨てで算出しているため合計が当期分配金(税込み)と一致しない場合があります。



## 今後の見通しと運用方針

### <当ファンド>

当初の運用方針通り、ハーベスト AF エクイティ ファンドの投資を通じ、信託財産の中長期的な成長を目指した運用を行います。

### <ハーベスト AF エクイティ ファンド>

※以下の内容は、ハーベスト AF エクイティファンドのファンド・マネジャー(ハーベスト グローバル インベストメント リミテッド)のコメントをSBIアセットマネジメント株式会社が和訳・編集したものです。

直近の厳しい投資環境にもかかわらず、アジア・フロンティア株式市場の全般的な見通しに関して、我々は引き続き自信を持っています。アジア・フロンティア株式市場は一般的にグローバル市場の影響をあまり受けないものの、直近数カ月の動向を見ると、アジア・フロンティア市場はグローバル市場のリスク回避的な市場環境の影響を全く受けないわけではないということが示されました(特に外国為替市場の急激な変動時など)。それでもなお、こうした局面においても、今後はアジア・フロンティア株式に対する投資家の関心がより高まると思われ、我々は考えています。アジア・フロンティア株式市場は、依然として外国人投資家の主な投資対象にはなっていません。アジア・フロンティア諸国の GDP 成長率は、今後数年間にわたって先進国を上回り続け、その結果、アジア・フロンティア株式市場は好パフォーマンスを上げるでしょう。現在の低金利・低成長下において成長の果実を追求する世界の投資家は、最終的にフロンティア市場に参入するでしょう。

ベトナムやバングラデシュなどのフロンティア諸国は、引き続き今後の経済成長に向けて構造的な変化を遂げています。両国は政治がさらに安定化するとみられており、政府は輸出セクターの発展に向けた投資を行うと確約しています。ベトナムなどを含む環太平洋経済連携協定(TPP)に関する合意については、アジア・フロンティア諸国が域内の自由貿易や自由な資本移動といった恩恵の最大の受益者になるとみられていることから、アジア・フロンティア市場の成長への確信をさらに強めるものとなっています。

ベトナムは、TPP の最大の恩恵を受ける国とみられています。TPP は、今後のベトナムの輸出を押し上げ、海外からベトナムへの外国直接投資を増加させ、ベトナム上場企業における外国人投資家の保有制限の撤廃を促進するでしょう。TPP は日米の 2 大市場を開放することにもなります。ベトナムの製造業セクターが競争上の優位性を持ち、TPP 参加国として先行者利益を得ることを考慮すれば、ベトナムは非常に良い状況にあります。TPP が批准された場合、外国からベトナムへの直接投資が加速するでしょう。アジア域内の縫製会社は、生産に関しては中国への依存度を減らし、米国や他の TPP 参加国との貿易量増加を見越して、既にベトナムで操業を開始しています。TPP 参加国になることにより、ベトナムの国営企業改革に拍車がかかり、外国人持ち株比率の上限拡大が実現するでしょう。

2015 年 12 月に米国が利上げを実施する可能性はあるものの、我々は世界的な流動性供給による投資マネーが引き続き相場を下支えするとの見方を維持しています。こうした動きは、中国政府による一帯一路戦略など政策主導で行われることになるでしょう。アジア・フロンティア市場は、こうした政策の下でのインフラ開発支出の主要な受益者になりそうです。アジア域内で最もインフラ開発を必要とする 10 カ国のうち、パキスタン、バングラデシュ、ベトナム、カザフスタンの 4 カ国は、フロンティア市場に属しています。これらの 4 カ国は、2010 年から 2020 年までに 5,040 億ドル以上のインフラ投資が必要になります。この金額はこれら 4 カ国の GDP の単純合計額の 60% 近くを上ります。今のところ、2015 年 11 月に開催されたアジア太平洋経済協力会議(APEC)や東南アジア諸国連合(ASEAN)首脳会議の終了後、政策面で中国に大きな動きがみられ、最も留意すべきことは、中国からタイ、マレーシア、パキスタンなどの域内の国々に対する巨額の投資が決定されました。

商品市況のサイクルが下落局面を迎えるとの我々の考えは、これまで正しかったと言えます。今後、商品市況のサイクルは底打ちする可能性があるとはみているものの、中期的には商品相場の見通しは、需給要因から厳しい状況が続くと我々は考えています。ハーベスト AF エクイティ ファンドは、カザフスタンに関しては組入比率をゼロとし、モンゴルに関しては生活必需品関連の 1 銘柄のみの保有としていることから、世界のエネルギー価格下落の影響をほとんど受けない状況になっています。両国は、経済を再構築し商品輸出への依存度を減らさなければ、財政的な問題に直面する可能性があります。

## お知らせ

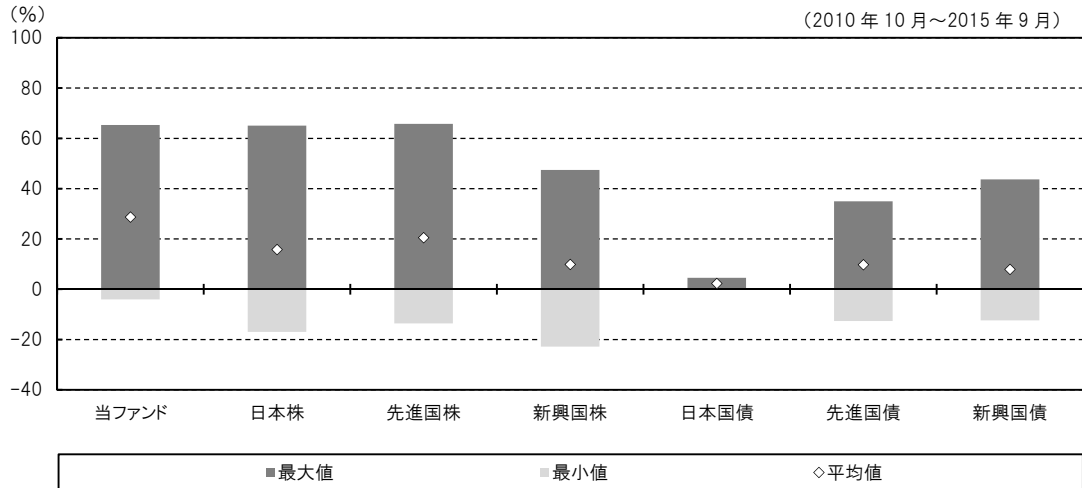
- ・運用報告書(全体版)について、電磁的方法により提供することを可能とするため、信託約款に所要の変更を行いました。
  - ・信託契約の解約及び変更等に係る書面決議について、要件の緩和に伴い信託約款に所要の変更を行いました。
  - ・書面決議に反対した受益者による受益権の買取請求について、規定の適用除外に伴い信託約款に所要の変更を行いました。
- (変更日:2014年12月1日)

## 当ファンドの概要

商品分類	追加型投信／海外／株式
信託期間	無期限(2011年10月28日設定)
運用方針	投資信託財産の中長期的な成長を図ることをめざして運用を行います。
主要投資対象	主として、外国投資信託「ハーベスト・アジア フロンティア エクイティファンド クラスJ」受益証券と「FOFs用短期金融資産ファンド(適格機関投資家専用)」受益権を主要投資対象とします。
運用方法	①投資信託証券への投資割合には制限を設けません。 ②外貨建資産への実質投資割合には制限を設けません。 ③株式への直接投資は行いません。 ④デリバティブの直接利用は行いません。ただし、本ファンドが投資対象とする外国投資信託証券においてデリバティブを利用する場合があります。 ⑤投資信託証券、短期有価証券および短期金融商品等(短期投資を目的とする公社債等の有価証券を含みます。)以外への直接投資は行いません。
分配方針	毎決算時(原則10月25日。ただし、休業日の場合は翌営業日)に繰越分を含めた経費控除後の利子・配当等収益と売買益(評価益を含みます。)等の全額とし、委託者が基準価額水準、市場動向等を勘案して決定します。ただし、分配対象額が少額の場合は、分配を行わない場合があります。

(参考情報)

○当ファンドと代表的な資産クラスとの騰落率の比較



(単位: %)

	当ファンド	日本株	先進国株	新興国株	日本国債	先進国債	新興国債
最大値	65.3	65.0	65.7	47.4	4.5	34.9	43.7
最小値	△4.1	△17.0	△13.6	△22.8	0.4	△12.7	△12.4
平均値	28.7	15.8	20.5	9.9	2.3	9.7	7.9

(注1) 全ての資産クラスが当ファンドの投資対象とは限りません。

(注2) 2010年8月から2015年7月の5年間の各月末における直近1年間の騰落率の最大値・最小値・平均値を表示したものです。

(注3) 当ファンドについては設定日以降のデータが5年に満たないため、2011年10月28日(設定日)から2015年10月26日のデータを基に算出しております。したがって、代表的な資産クラスとの比較対象期間が異なります。

(注4) 上記の騰落率は決算日に対応した数値とは異なります。

(注5) 当ファンドは分配金再投資基準価額の騰落率です。

《各資産クラスの指数》

日本株: 東証株価指数(TOPIX)(配当込み)

先進国株: MSCI KOKUSAI インデックス(配当込み、円ベース)

新興国株: MSCI エマージング・マーケット・インデックス(配当込み、円ベース)

日本国債: NOMURA-BPI 国債

先進国債: シティ世界国債インデックス(除く日本、円ベース)

新興国債: JP モルガン・ガバメント・ボンド・インデックス-エマージング・マーケット・グローバル・ディバースファイド(円ベース)

※海外の指数は、為替ヘッジなしによる投資を想定して、円換算しております。

※各指数についての詳細は、最終ページをご参照ください。

\* 代表的な資産クラスの騰落率は、データソースが提供する各指数をもとに株式会社野村総合研究所が計算しており、SBIアセットマネジメントはその内容について、信憑性、正確性、完全性、最新性、網羅性、適時性を含む一切の保証を行いません。また、当該騰落率に関連して資産運用または投資判断をした結果生じた損害等、当該騰落率の利用に起因する損害及び一切の問題について、何らの責任も負いません。

## 当ファンドのデータ

## 組入資産の内容

(2015年10月26日現在)

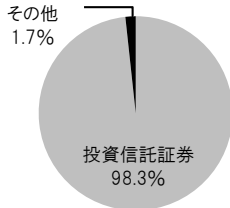
## ○組入上位ファンド

銘柄名	第4期末
	%
ハーベスト・アジアフロンティア エクィティファンド クラスJ	98.3
FOFs用短期金融資産ファンド(適格機関投資家専用)	0.1
組入銘柄数	2銘柄

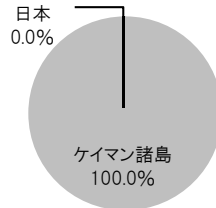
(注1) 組入比率は純資産総額に対する評価額の割合です。

(注2) 組入銘柄に関する詳細な情報等につきましては、運用報告書(全体版)に記載されています。

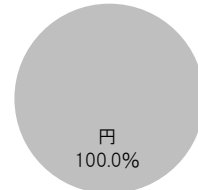
## ○資産別配分



## ○国別配分



## ○通貨別配分



(注1) 資産別配分の比率は純資産総額に対する割合です。

(注2) 国別配分は組入株式評価額に対する比率です。

(注3) 国別配分は発行国を表示しております。

(注4) 通貨別配分は組入投資信託証券の株式評価額に対する比率です。

## 純資産等

項目	第4期末
	2015年10月26日
純資産総額	1,834,011,870円
受益権総口数	1,347,405,073口
1万口当たり基準価額	13,611円

(注) 期中における追加設定元本額は1,266,933,757円、同解約元本額は399,803,838円です。

組入上位ファンドの概要

ハーベスト・アジア フロンティア エクイティ ファンド クラスJ

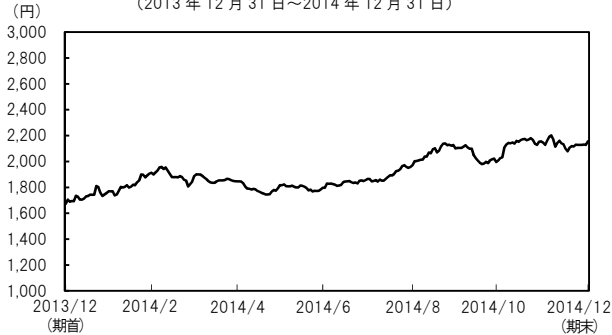
作成時点において、入手可能な直前計算期間の年次報告書を基に作成しております。

【1口当たり純資産価格の推移】

(2013年12月31日～2014年12月31日)

【1万口当たりの費用明細】

入手可能な費用明細のデータが存在しないため、掲載しておりません。



- (注1) 設定日の1口当たり純資産価格は1,000円です。
- (注2) 報酬(固定報酬・成功報酬)控除後の数値です。
- (注3) グラフは、BNP パリバ セキュリテーズ・サービス・シンガポールブランチが算出した数値に基づいています。
- (注4) 上記純資産価格は、「ハーベスト アジア フロンティア株式ファンド」の翌営業日の基準価額に反映されます。

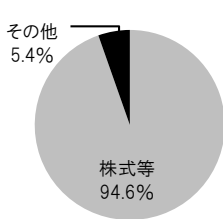
【組入上位 10 銘柄】

(2014年12月31日現在)

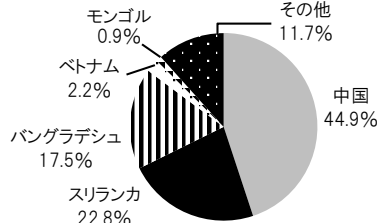
	銘柄名	業種/種別等	通貨	国(地域)	比率(%)
1	BRITISH AMERICAN TOBACCO BANGLADESH CO LTD	生活必需品	バングラデシュ・タカ	バングラデシュ	9.58
2	LION BREWERY CEYLON PLC/THE	生活必需品	スリランカ・ルピー	スリランカ	7.66
3	CONSUN PHARMACEUTICAL GROUP LTD	ヘルスケア	香港ドル	中国	7.15
4	CENTURY SAGE SCIENTIFIC HOLDINGS LTD	一般消費財関連	香港ドル	中国	6.38
5	CHEVRON LUBRICANTS LANKA PLC	エネルギー	スリランカ・ルピー	スリランカ	5.40
6	NERA TELECOMMUNICATIONS LTD	情報技術	シンガポール・ドル	その他(シンガポール)	5.21
7	JOHN KEELLS HOLDINGS PLC	資本財	スリランカ・ルピー	スリランカ	4.78
8	POLY CULTURE GROUP CORP LTD	一般消費財関連	香港ドル	中国	4.65
9	LINDE BANGLADESH LTD	素材	バングラデシュ・タカ	バングラデシュ	4.32
10	CHINA NATIONAL ACCORD MEDICINES CORP LTD	ヘルスケア	香港ドル	中国	2.89
組入銘柄数			37 銘柄		

- (注1) 比率は、純資産総額に対する割合です。
- (注2) 国(地域)は実際の上場取引所の国々とは必ずしも一致しません。

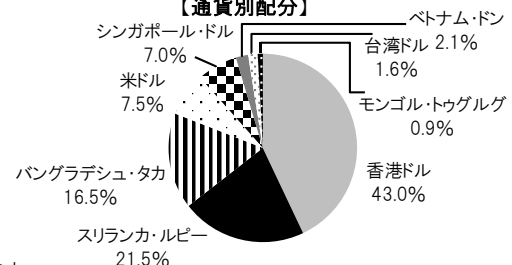
【資産別配分】



【国別配分】



【通貨別配分】



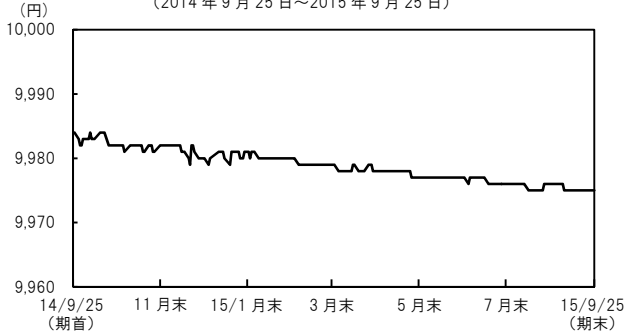
- (注1) 組入銘柄、資産別・国別・通貨別配分のデータは、2014年12月31日現在のものです。
- (注2) 資産別配分の比率は、純資産総額に対する評価額の割合、国別・通貨別配分の比率は投資信託証券の評価額合計に対する割合です。

## FOFs用短期金融資産ファンド(適格機関投資家専用)

作成時点において、入手可能な直前計算期間の年次報告書を基に作成しております。

### 【基準価額の推移】

(2014年9月25日～2015年9月25日)



### 【1万口当たりの費用明細】

(2014年9月25日～2015年9月25日)

項目	円
(a) 信託報酬 ( 投信会社 ) ( 販売会社 ) ( 受託銀行 )	14 (11) ( 1) ( 2)
(b) 保管費用等	0
合計	14

(注) 上記項目の概要につきましては、P2をご参照ください。

### 【組入上位 10 銘柄】

(2015年9月25日現在)

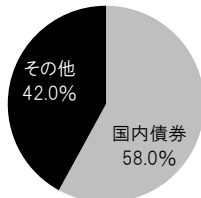
銘柄名	国/地域	比率(%)
第2回政府保証東日本高速道路債券	日本	12.2
第856回政府保証公営企業債券	日本	7.2
第865回政府保証公営企業債券	日本	3.8
第2回政府保証中日本高速道路債券	日本	3.6
第1回政府保証日本高速道路保有・債務返済	日本	3.0
第187回政府保証中小企業債券	日本	2.8
第16回政府保証日本高速道路保有・債務返	日本	2.7
第11回政府保証日本政策投資銀行債券	日本	2.7
第1回政府保証東日本高速道路債券	日本	2.7
第866回政府保証公営企業債券	日本	2.3
組入銘柄数	21 銘柄	

(注1) 比率は、純資産総額に対する割合です。

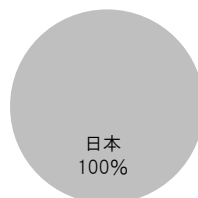
(注2) 組入銘柄に関する詳細な情報等につきましては、運用報告書(全体版)に記載しております。

(注3) 国(地域)につきましては発行国もしくは投資国を表示しております。

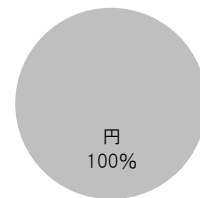
### 【資産別配分】



### 【国別配分】



### 【通貨別配分】



(注1) 基準価額の推移、組入上位10銘柄、資産別・国別・通貨別のデータは2015年9月25日現在のものです。

(注2) 1万口当たりの費用の明細は、「FOFs用短期金融資産ファンド(適格機関投資家専用)」の直近の決算期のものです。

(注3) 資産別・通貨別配分の比率は純資産総額に対する評価額の割合、国別配分の比率はポートフォリオ部分に対する評価額の割合です。

## ＜代表的な資産クラスとの騰落率の比較に用いた指数の著作権等＞

○東証株価指数(TOPIX)(配当込み)は、東京証券取引所第一部に上場している国内普通株式全銘柄を対象として算出した指数で、配当を考慮したものです。なお、TOPIX に関する著作権、知的財産権その他一切の権利は東京証券取引所に帰属します。

○MSCI KOKUSAI インデックス(配当込み、円ベース)は、MSCI Inc.が開発した、日本を除く世界の先進国の株式を対象として算出した指数で、配当を考慮したものです。なお、MSCI Index に関する著作権、知的財産権その他一切の権利は、MSCI Inc.に帰属します。

○MSCI エマージング・マーケット・インデックス(配当込み、円ベース)は、MSCI inc.が開発した、世界の新興国の株式対象として算出した指数で、配当を考慮したものです。なお、MSCI Index に関する著作権、知的財産権その他一切の権利は、MSCI Inc.に帰属します。

○NOMURA-BPI 国債は、野村證券株式会社が発表している日本の国債市場の動向を的確に表すために開発された投資収益指数です。なお、NOMURA-BPI 国債に関する著作権、商標権、知的財産権その他一切の権利は、野村證券株式会社に帰属します。

○シティ世界国債インデックス(除く日本、円換算ベース)は、Citigroup Index LLC が開発した、日本を除く世界主要国の国債の総合収益率を各市場の時価総額で加重平均した指数です。なお、シティ世界国債インデックスに関する著作権、商標権、知的財産権その他一切の権利は、Citigroup Index LLC に帰属します。

○JP モルガン・ガバメント・ボンド・インデックス-エマージング・マーケット・グローバル・ディバースファイド(円ベース)は、J.P.Morgan Securities LLC が算出、公表している、新興国が発行する現地通貨建て国債を対象にした指数です。なお、JP モルガン・ガバメント・ボンド・インデックス-エマージング・マーケット・グローバル・ディバースファイドに関する著作権、知的財産権その他一切の権利は、J.P.Morgan Securities LLC に帰属します。